

「清五郎滝」ルート復旧

豪雨災害から3年

2004年の豪雨災害で大きな被害を受けた紀北町で、「清五郎滝」に通じる道が3年ぶりに復旧し、地元非営利組織（NPO）法人のメンバーらが2日、現地を視察した。清五郎滝は、厳寒期に流れ落ちる水が凍りつき、幻想的な風景となる秘境として知られ、地元では「まぶやく秘境」を見に行けるようになる」と期待が高まっている。



「秘境」また見に来て

NPOが視察、整備

清五郎滝は奈良県境に近い同町の椋山（1009m）のふもとにあり、五つの滝からなる。同町を流れる銚子川の源流の一つで、周囲は山深い。車で通行できる林道が近くまで通っており、かつて材木の搬出に使われていたトロッコ道を40分ほど歩けば滝まで行くことができた。しかし、2004年の豪雨災害で林道が崩落してからは、林道を迂回して3時間ほど歩かねばならなくなり、ほとんど人が訪れなくなっていた。

今年に入り、林道が復旧したことを受け、「またみんなに見てもらえれば」と、同町で自然体験プログラムなどを行うNPO法人「ふるさと企画画」のメンバーら15人が、下見を兼ねた現地視察に出かけた。しかし、トロッコ道は所々で崩落が見つかったため、メンバーは「白がかりで、山の急斜面を下る迂回路を探

今年に入り、林道が復旧したことを受け、「またみんなに見てもらえれば」と、同町で自然体験プログラムなどを行うNPO法人「ふるさと企画画」のメンバーら15人が、下見を兼ねた現地視察に出かけた。しかし、トロッコ道は所々で崩落が見つかったため、メンバーは「白がかりで、山の急斜面を下る迂回路を探

今年に入り、林道が復旧したことを受け、「またみんなに見てもらえれば」と、同町で自然体験プログラムなどを行うNPO法人「ふるさと企画画」のメンバーら15人が、下見を兼ねた現地視察に出かけた。しかし、トロッコ道は所々で崩落が見つかったため、メンバーは「白がかりで、山の急斜面を下る迂回路を探

滝への道を整備するNPOメンバー



林道が復旧し、3年ぶりに訪れることができたようになった「清五郎滝」



し出し、危険な所にはロープを張ったり、土砂に埋まった所を掘り返したりして、歩いて通れる状態にする作業を行った。

この日、清五郎滝はまだ凍っていないが、五つの滝で最もきれいに凍るといわれる、落差44mの「第3の滝」の下にたどり着いたメンバーは、水が滑り落ちる岩肌を3年ぶりに見上げ、目を細めていた。

同法人の田上至理事長（45）は「紀北町は水害で大きな被害を受けたが、またこうして清五郎滝に来られたことは、復旧の証しでもあり、とてもうれしい。また注意の必要な所もあるので、十分な整備をしてきてほしい」と話していた。同法人では、厳寒期に滝を訪れるツアーも予定している。問い合わせは事務局（0597・33・0077）。